

だい き  
第5期

さいわいくくみんかいぎ



# 幸区区民会議だより

だい ごう  
第4号

発行: 第5期幸区区民会議

問い合わせ: 幸区役所まちづくり推進部企画課 電話: 556-6612 FAX: 555-3130 E-mail: 63kikaku@city.kawasaki.jp

ていげん と む  
**提言の取りまとめに向け、**  
ちょうさしんぎ すす  
**調査審議を進めています!**



第5期幸区区民会議の4回目の全体会議が8月31日に開催され、2つの専門部会から、調査審議状況等の報告がありました。

今後は、これまで実施したヒアリングや現地調査等をもとに、地域の課題解決に向けた取組について検討し、提言を取りまとめていきます。

## じてんしゃじこせろぶかい 自転車事故ゼロ部会

### ○「区内道路の危険箇所調査」の実施

「南河原」「御幸」「日吉」の3地区ごとに、「過去に自転車事故が発生した地点」等を対象に調査を実施しました。



1地区あたり15箇所程度の現場を確認した後に、区役所に戻り、調査結果のふりかえりを行いました。

すぐに調査内容をふりかえることで、委員同士活発な意見交換ができ、様々なアイデアがでてきました。



## ちいきりよく く ぶかい 地域力で暮らしやすいまち部会

### ○幸区ご近所支え愛モデル事業の調査

今年度から、幸区役所でスタートした「幸区ご近所支え愛モデル事業」についての調査を実施しました。



じてんしゃじこせろぶかい  
自転車事故ゼロ部会

○「調査」により確認できたポイント

調査により確認できたポイントとして、大きく分けて2点ありました。

【自転車走行環境の改善の必要性】

- ・交差点部分での「十字マーク」等の表示
- ・大規模な交差点での自転車走行位置表示
- ・「一時停止表示」等の視認性向上等

【自転車利用者の意識改善の必要性】

- ・自転車が走りやすい道路などにおける、スピードの抑制
- ・「一時停止」などの交通ルールの順守
- ・自転車の左側走行の徹底等

○体験型高齢者交通安全教室」の検討

町内会・自治会、老人クラブ等と連携し、「自転車シミュレーター」等の機器を活用

した、参加者一人ひとりに合わせたキメ細やかな交通安全教室の実現を目指し、今後試行実施をしています。



○提言の作成に向けた取組の方向性

- ・「調査」を踏まえ、整備が必要と思われる箇所や整備内容等について検討を行います。
- ・「体験型高齢者交通安全教室」を試行実施し、より効果的な実施内容を検討します。
- ・さまざまな世代を対象とした、自転車交通ルールの順守を促すための周知啓発方法について、検討を行います。

ちいきりよくくぶかい  
地域力で暮らしやすいまち部会

○町内会等へのヒアリングの実施

主に「地域コミュニティの活性化」につながる取組について、町内会等へヒアリング調査を実施しました。

【幸区・戸手中部九十九会（老人クラブ）】

- (1) 高齢会員への直接訪問（友愛活動）時における「月間行事予定」の配布
  - (2) 戸手小学校での「昔遊び」の指導等を通じた交流
- ⇒日頃から、顔の見える関係を築く取組



【横浜市・くぬぎ台団地自治会】

- (1) エアコン清掃や網戸の交換など一括契約により比較的安価に信頼できるサービスを利用できる仕組み
  - (2) 災害時、近隣スーパー等から、自治会が窓口となり、必要物資を優先的に提供してもらう「防災協定」の締結
- ⇒高齢者世帯の多い団地ならではの、住民のニーズに直結した取組

○提言の作成に向けた取組の方向性

- ・地域包括ケアシステムにおける自助・互助の意識を醸成し、地域の役割や取り組める事項について、「幸区ご近所支え愛モデル事業」の事例等を含め、広く区民に周知する方法の検討を行います。
- ・他都市を含めた町内会等の効果的な活動事例等を情報収集し、町内会等が必要に応じて活動に取り入れられるよう、効果的な情報発信について検討します。
- ・若い世代が町内会等への理解を深め、加入や活動の参加を促進する取組について、さらに検討を進めます。